

2025 年度 授業コード: 21109423

授業科目	＊地域生活支援実習(2023 年度入学生)					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	0	開講時期	後期・前期
担当教員	吉原 悦子／鹿毛 美香／井手 裕子						
授業概要	地域で生活する様々な健康レベルにある人々とその家族を総合的に理解し、生活および健康上の課題をとらえ、地域包括ケアシステムにおいて包括的に支援するための看護の役割について学ぶ。また、多職種との連携協働する上での基礎的な能力を養う。 実務家教員として看護師での臨床経験を持ち、暮らしの保健室などにおける地域におけるボランティア活動などを通してえた経験を活かし、対象の健康支援について具体的に考えること、看護の対象や活動の広がり、さらに地域において健康・生活支援にかかわる人々との連携協働の重要性について学び、看護の役割について自身の言葉で表出ができることを目指す。						
授業形態	対面授業				授業方法	実習	
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	地域で生活する人々とその家族の暮らしと健康について人間関係を形成しながら理解し、健康レベルや健康課題を捉えることができる。 対象の健康・生活支援について考え、地域において健康・生活支援にかかわる多職種と関わり多職種連携の実際について経験し、地域包括ケアシステムにける看護の役割について説明できる。 1. 地域で生活する人々とその家族の健康や生活の特性を理解する。 2. 地域で生活する人々とのかかわりを通して適切な人間関係を形成できる。 3. 地域で生活する人々のその人らしい生活、および健康支援のあり方について考え、説明することができる。 4. 地域の特性を把握し、地域包括ケアシステムにおける様々な社会資源の機能と役割を説明することができる。 5. 地域において健康支援にかかわる多職種と関わり、その連携協働について学び、看護師の役割を考察することができる。						
理想的レベル	地域で生活する人々と良好な人間関係を形成することができる。 また、地域で生活する人々とその家族の暮らしと健康について十分に理解し、同時に健康レベルや健康課題を捉え、説明することができる。 対象の健康支援について具体的に考えることができ、看護の対象や活動の広がりを理解することができる。さらに地域において健康支援にかかわる人々（専門職にかかわらず）との連携協働について関心を持ち、看護の役割について学び、記述することができる。さらにケアチームの一員として主体的行動することができる。						
評価方法・評価割合							
評価方法			評価割合（数値）			備考	
試験							
小テスト							
レポート			55				
発表（口頭、プレゼンテーション）			15				
レポート外の提出物							

